

## 京都府図書館等連絡協議会実務研修会（中部会場）概要

テーマ：「ワコールスタディホール京都～企業が提供する学びのサービス～」

演 題：同上

講 師：徳持 隆二郎 氏

会 場：ワコールスタディホール京都  
京都市南区西九条北ノ内町6 ワコール新京都ビル

日 時：令和元年9月19日(木)13時30分～16時30分（受付：13時～）

参加人数：33名

概 要：今年度の中中部研修は、「企業が提供する学びのサービス」をテーマとし、ワコールスタディホール京都で講演と見学、グループワークを実施した。

今回の会場は京都駅八条口の近くに立地し、「美的好奇心をあそぶ、みらいの学び場」をコンセプトに「身体」「感性」「社会」の3つの美についてアプローチできるような空間が形作られている。有料会員制で、明るく静かで落ち着いた雰囲気的空間には男性利用者も見受けられた。

講演では、ワコールの広報宣伝を担当される徳持 隆二郎 氏により、媒体にSNSを活用し、メール会員への情報発信やイベントの誘致等に及ぶ、企業ならではの広報戦略について話を伺った。

見学したライブラリーに並べる本の選書は外部専門家に委ね、ファッションや食、アート等、十一のテーマに分けて並べられていた。NDC分類によることなく、現場で装丁や全体のバランスを見ながら配置を決めるという方法に、参加者は新鮮な刺激を受けた様子だった。

この後、参加者はグループ毎に、自分のいる状況に照らして「すぐに実践できそうなこと」「今後やってみたいこと」について意見を出し合った。

参加者が普段勤務している公立図書館とは異質な、企業の図書館とその施設からは、見るものすべてに新鮮な印象を受けたこともあって、活発な意見交流が見られた。最後にまとめられた参加者の共通認識としては、ゆとりのある配架と空間づくり、くつろげる空間、本を手にとってみたくなる工夫、利用者相互の交流スペース、イベントのPRには発想の転換が必要、等があげられた。今後の各館での実践に生かされるよう期待される。